

(10) 高校生の献血状況

近年は、県民の高齢化が急速に進む一方、10代から30代までの献血者数が減少し、将来、血液製剤を安定的に供給することができなくなることが危惧されています。

そこで、埼玉県では、必要なときに献血量が確保できるように、若年層を中心とした献血経験者を増やすことに努めています。

特に、高校生の献血推進には、教育委員会と連携して注力しています。（巻頭特集グラフ参照）

ア 高校生献血者数の推移（県内の献血ルームと移動採血車による献血者数の合計）



※ 献血者数はのべ人数

イ 高校内献血実施状況

毎年、県保健所・市町村・埼玉県赤十字血液センターの三者による学校訪問等を行い、高校内での移動採血車による献血の協力を依頼しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、校内献血での献血者数が減少しました。

